

# 私が見てきた“被災地”福島Ⅶ

## ～原発事故からの復興は誰のもの？～

### 大阪市教育会館東館 1階市民ギャラリーで3月3日から

2011年3月11日に発生した東日本大震災はマグニチュード9.0という日本では、観測史上最大の地震でした。「一般財団法人 大阪市教育会館」は発生後すぐに教育復興支援ということで、サクラクレパスのご協力により、文房具を岩手教育会館に運び、岩手教育会館から被災した子どもたちに届けていただきました。それ以降、復興支援ということで、3月11日を忘れないために、バザーや震災写真展を開催してきました。

今年も、昨年に引きつづき、大阪市の中学校の教員で、被災地福島の支援に取り組んでいるボランティアグループ



南相馬市小高に広がるメガソーラー

「あいむひあ大阪」でも活動されている、木村英生さんの写真展を開催します。木村さんはおもに、福島県の南相馬市を中心に、福島第1原子力発電所によって被災した地域での支援活動の中で、被災地の姿を伝えるため、事故後の被災地の写真をずっと撮り続けられています。

木村さんは、「避難指示の解除や復興事業が強調される中で、今も避難するなどの事故後の生活を送られている被災者の姿がまったく伝えられず、原発事故が過去のことにされようとしていることをそのままにはできない。原発事故は福島県の人だけの問題ではなく、全国のどこで起きてもおかしくないことで、自分たちの問題として考えてほしい。2度と同じ過ちを繰り返さないために、『電気が必要だから原発は仕方ない』ではなく、本気でこの事故からしっかり学ばなければならない」という強い思いを持っておられます。

カーボンニュートラルの実現が提案されている中で、化石燃料の価格高騰もあり、原子力発電の復権が具体的な政策としてすすめられています。

ぜひとも多くの市民のみなさんに「事故後14年を迎える原子力災害被災地福島」の写真を通して、原発事故の現実を見ていただくとともに、木村さんの思いに触れ、被災地の現状をしっかりとらえ、この写真展を通して、震災・原発事故後の社会を考えるきっかけにしていきたいと考えています。

写真展は3月3日から3月30日まで、大阪市教育会館東館1階の市民ギャラリーで開催します。また、記念講演会も3月15日（土）東館304号室で午後2時から開催します。多くのおみなさまのご来場をお待ちしています。



双葉駅北に残る帰還困難区域の家

**会場** 大阪市教育会館 東館1階市民ギャラリー  
大阪市中央区法円坂 1-1-38  
TEL 06-6943-5021

**展示期間** 2025年3月3日（月）～3月30日（日）

**開設時間** 開館中はいつでもご覧いただけます。

開館時間：午前9時～午後9時

（日・祝 午後5時まで）



※お車でのご来場の際は  
大阪市教育会館の一時利用  
をご利用ください。  
現在、駐輪場の一時利用  
は停止しております。

#### 木村英生震災写真展記念講演

「原発事故から14年 被災地でいま進められていること

～本当にだいじにしなければならないことは何だろう～

木村英生震災写真展の記念講演会として、3月15日（土）午後2時から大阪市教育会館東館3階304号室にて今回の写真の解説を中心とした木村さんの講演会を予定しています。講演会にも多数の参加をお願いします。参加費は無料です。